



これだけは、しっかりと覚えてください。「被ばく」と「汚染」という用語を明確に分けて使うということです。

放射性物質(放射線源)から出た「放射線」を体に浴びることを「被ばく」と言います。放射性物質が体外にある場合には、体の外側から被ばくしますから「外部被ばく」と言います。放射性物質が体内に入った場合には、体の内側から被ばくしますから「内部被ばく」と言います。

「放射性物質」があるべきでない場所に付着することを「汚染」と言います。

つまり、焚き火の「炎」にあたるのが「放射線源」で、炎から飛び出した熱線が「放射線」です。焚き火が体外にあれば、我々は「外部被ばく」をします。炎が他のところに飛び火すれば、そこは「汚染」されたこととなります。炎が体内にまで飛び火すれば「内部被ばく」することとなります。